

トピックス 海外向け広報誌 Ascent (アセント) 創刊

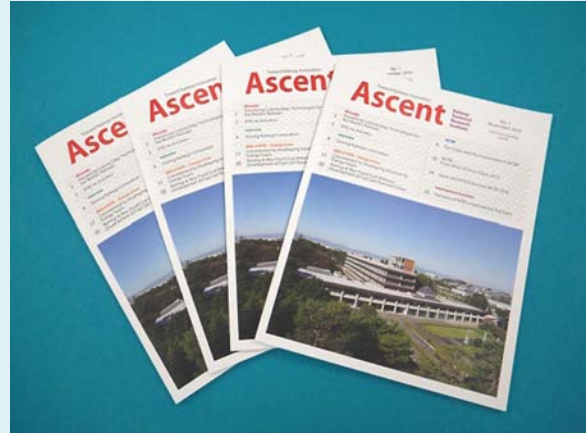
鉄道総研は、海外向けの広報誌 Ascent (アセント) の創刊号を、平成28年11月30日に発刊しました。

【創刊の目的】

近年、世界の交通環境においては、高速鉄道、都市鉄道など鉄道が果たす役割はますます大きくなりつつあります。そのようななか、鉄道総研が開発した技術やこれまで蓄積してきた鉄道技術に関する専門知識を、世界の鉄道のために役立てることが一層重要になると考えられます。このような観点に基づいて、世界の幅広い鉄道関係者に鉄道総研の活動を知ってもらうこと、鉄道総研の活動への理解をさらに深めてもらうことの2つを目的に広報誌 Ascent を創刊しました。

【Ascent 命名の由来】

Ascentには「上昇」や「向上」という意味があります。鉄道総研では、平成26年12月に、研究所の志や将来の方向性を示すために「革新的な技術を創出し、鉄道の発展と豊かな社会の実現に貢献します」というビジョンを策定しました。本広報誌の創刊の趣旨は、まさにこのビジョンの精神に合致しています。そこで、このビジョンの実現に向けて常に上昇していく強い意志を込めて、雑誌名を Ascent と命名しました。



【特徴】

鉄道総研の活動を紹介する英文誌として、技術論文誌の Quarterly Report (QR) があります。今回創刊した Ascent は、世界の鉄道事業者、鉄道関係企業などの技術マネジメントを行う経営幹部層を含めた幅広い読者を想定しています。したがって、技術の専門家ではない読者にも理解しやすく、アピール性の高い内容となっています。Ascent は年2回の発刊を予定しており、他の鉄道総研刊行物と同様に鉄道総研のホームページ (<http://www.rtri.or.jp/>) からご覧いただくことができます。

【創刊号の内容】

記事タイトル
メッセージ：世界の鉄道のために最先端技術に挑む 鉄道総研からのメッセージ：鉄道総研の活動
インタビュー：鉄道のイノベーションを推進する —熊谷理事長インタビュー
WCRR 特集 WCRR の歴史 WCRR - ミラノ 2016 から東京 2019 へ WCRR 2016 での日本および鉄道総研からの貢献
鉄道総研の研究開発：エネルギー問題 エネルギー問題への取り組み 脱化石燃料の鉄道を目指して：燃料電池電車の開発
国際活動